

く道を探すため、自然史解明に必要な研究拠点である「国立自然史博物館」は、本市が国内において最もふさわしい場所であると考へ、本市の生物多様性や豊かな自然を国内外へアピールするため、引き続き官民一体となった誘致活動に取り組んでまいります。また、市民の皆様へ、島の自然の豊かさや生物の多様性を直に感じていただくため、野鳥観察会を引き続き行つてまいります。

絶海の孤島であることから類まれなる自然環境を有し、固有の動植物の存在が確認されている尖閣諸島は、我が国固有の領土であり、本市の行政区域であります。このことは、国の調査研究委員会による調査資料からも明白となっております。

近年、中国公船による領海侵入等が繰り返され、昨年の領海侵入は延べ126隻、接続水域での確認日数は282日と過去最多となりました。尖閣諸島が我が国の領土であることをより明確に国際社会へ意思表示し、世論の啓発を図つていくため、国においてはこの度、尖閣諸島のキャラクター「アルバちゃん」がお披露目され、また、都内に常設している「領土・主権展示館」を今年1月21日に拡張移転しました。今後はさらに充実した情報の発信拠点として期待されるところであります。本市におきましても、毎年1月14日開催の「尖閣諸島開拓の日式典」等により広報活動を行い、市内における尖閣諸島をめぐる領土・主権に関する事実や正確な理解を内外に浸透させていくための情報発信の場として、尖閣諸島資料館の整備・運営を国へ引き続き要請してまいります。

廃棄物対策につきましては、施設の延命化や多様化する廃棄物の増加に対応する取り組みを行つてまいります。また、本市の持続可能な社会形成に向けた一般廃棄物発生量の抑制及び最終処分率の軽減に向け、現状のニーズに合った3Rの推進活動を行うために必要な指針となる、総合的な基本計画策定に取り組んでまいります。

快適で生活しやすいまち 「いしがき」

2. 快適・安心

市街地につきましては、秩序あるまちなみの形成に向けて、南（はい）大浜（ほーま）地区一帯に用途地域を指定するところであり、このことにより、市街地は1.5倍に拡大され、宅地の供給や経済活動がさらに活発化することが期待されます。また、登野城地区においては、良好な住環境の保全・形成に向け、土地区画整理事業を実施しているところであります。早期完了を目指し、引き続き取り組んでまいります。

日本最南端の重要港湾である石垣港につきましては、新港地区において平成30年4月21日に待望の大型旅客船岸壁の暫定供用が開始し、令和3年春には20万トン級対応の岸壁として全面供用開始が予定されております。そのため令和2年度より大型旅客船に対応したCIQ施設の整備を進めてまいります。

市営住宅の整備につきましては、住戸不足の解消などを目的に、新川市営住宅の建て替えに向け、これまで実施設計に取り組んでまいりました。令和2年度は、本体工事に着手し、令和4年度の完成に向けてしっかりと取り組んでまいります。

本市において唯一の運動公園である中央運動公園の老朽化の状況に鑑み、令和元年度は、長寿命化計画に基づき、照明の改修工事を中心に行つてまいりました。令和2年度も引き続き照明の改修を行うとともに休養施設等の改修を進めてまいります。

水道事業につきましては、水の安定供給を図るため、耐用年数が到来している石垣浄水場次亜注水設備の更新工事を行つてまいります。また、塩害等により劣化が進んでおります浜崎町地区の配水管布設工事を引き続き実施し、耐震化の向上を

推進してまいります。更に、新規需要に対応するために、県道石垣空港線、区画道路等の配水管布設工事を行つてまいります。

下水道の整備につきましては、これまで地方公営企業法を適用し、健全な運営に努めるとともに汚泥の減量化を図るため、石垣西浄化センター内の前処理・消化・乾燥施設の建設に取り組んでまいりました。令和2年度は汚泥処理施設の早期完成、供用開始に向け取り組み、し尿・汚泥の集約化・減量化を行い、コストの縮減に努めてまいります。また、市街地における浸水・冠水解消に引き続き取り組んでまいります。

新たな石垣市のシンボルとなる市役所新庁舎は、石垣の伝統、文化並びに風景を継承し、市民や観光客等に開かれた人々が集える場所として、また、市民の安全・安心を担う防災拠点として、昨年10月に着工しました。令和3年度の供用開始を目指し着実に取り組んでまいります。また、新庁舎への移転後は、現庁舎跡地の新たな賑わいを創出する現庁舎等跡地活用に向けて取り組みを進めてまいります。

本市の交通安全対策につきましては、石垣市交通安全推進協議会、八重山地区交通安全協会や八重山警察署と協力し、交通安全運動の際の街頭パレード、飲酒運転根絶ポード作戦、街頭における交通指導などに取り組んだ結果、八重山警察署管内における交通死亡事故0の日数が、県内の最長記録を達成することができました。今後も、関係団体協力のもと、市民の交通安全意識の更なる向上に積極的に取り組んでまいります。また、昨今、全国的に高齢者のペダル踏み間違いによる交通事故が多発していることから、自動車誤発進抑制装置の購入及び取付け費用を補助する高齢者の交通事故対策についても重点的に取り組んでまいります。

美崎町歓楽街等における暴力団や反社会勢力の